

令和4年10月の活動日記

10月2日（日曜日） 「八卦杯」太極柔力球日本選手権大会



「八卦杯」太極柔力球日本選手権大会が宝塚市において開催されました。多くの方をお迎えできましたことをとても嬉しく思います。

太極柔力球は、太極の論理を活用し、ラケットで砂の入ったボールを操り、ゆったりと全身で行うことが特徴のニュースポーツです。全国レベルの演舞は、ラケットとボールが一体となったように感じるほど優雅で美しい演舞でした。

今後も太極柔力球競技がより普及し、盛んな世代間交流が行われることを願っております。

10月2日（日曜日） 第24回宝塚市手工芸公募展 表彰式



ソリオホールで開催された「第24回宝塚市手工芸公募展 表彰式」に出席しました。昨年に引き続き、今年も感染症対策を徹底し、宝塚市手工芸協会員の皆様をはじめ、多くの方々のご尽力により開催されました。

本市と姉妹都市である松江市をはじめ、震災を契機に交流を続けている宮城県や熊本県を含む全国から出品があり、いずれの作品も創造性と技術力を兼ねそろえた力作ぞろいで、見ごたえ十分でした。

コロナ禍にあって、出品者の作品に込められた思いや願いに触れ、温かい気持ちになりました。今後も、引き続き皆様が素晴らしい作品を生み出されるよう願っています。

令和4年10月の活動日記

10月4日（火曜日）ランランバス本格運行2周年記念式典式



月見山・長寿ガ丘地域を運行するランランバスの本格運行2周年記念式典に出席しました。
月見山・長寿ガ丘地域の皆様の熱意により令和2年10月に本格運行を開始したランランバスは、本年度で2周年を迎えます。平成30年の天災によりやむを得ず前事業者が撤退し、一時は交通空白地となってしまった月見山・長寿ガ丘地域ですが、地域の皆様の強い願いと事業者である株式会社フクユの皆様の力でランランバスは復活し、現在も地域の皆様の生活を支えています。
今後も、ランランバスが運行し続けることで、月見山・長寿ガ丘地域の魅力はより高まり、もっと住みたい、住み続けたい地域となるように祈っています。

10月5日（水曜日） 囲碁名人戦第4局開会式



本市を開催地として、第47期名人戦第4局の対局が行われるにあたり、宝塚ホテルにて開会式が開かれましたので、出席しました。
ここ宝塚市を舞台に井山 裕太名人、そして、芝野 虎丸九段の日本を代表するお二人が熱戦を繰り広げられます事をとても嬉しく思います。囲碁ファンの皆様や対局者のお二方、また関係者の皆様方に、この機会にぜひ宝塚市の魅力を満喫していただければと願っております。

令和4年10月の活動日記

10月6日（木曜日） 第15回「づか写真同好会」写真展



市立西公民館で開催されている、「づか写真同好会」写真展を鑑賞しました。

同好会の代表である村山明さんに、会員15名の皆さんがどのような思いで写真を撮られたのか、1枚ずつ解説をいただきながら作品を鑑賞しました。会員の平均年齢は80歳とのことですが、どの作品からも熱い気持ちが伝わり、大変楽しいひと時を過ごすことができました。また来年の写真展を心待ちにしております。

10月6日（木曜日） 宝塚市薬剤師会 薬と健康の習慣 講演会



西公民館で開催された、宝塚市薬剤師会「薬と健康の習慣講演会」に出席しました。このイベントは、宝塚市薬剤師会の皆様により、医薬品に対する正しい知識と使い方の普及の啓発活動として開催されています。本日の講演会では、薬が体内でどのように作用して病気やけがを治すのかだけでなく、副作用や副反応についても触れられており、とても興味深い内容でした。

高齢者の方の薬の飲み残しや、多剤服用などが問題になっておりますが、薬について正しい知識を身につけることは健康づくりに欠かせません。皆さまがこれからもますます元気で、いきいきと生活できるまちづくりに精進してまいります。

令和4年10月の活動日記

10月9日（日曜日） 特定非営利活動法人宝塚高次脳機能障害者共生の会「10周年の集い」



宝塚市総合福祉センターで開催された、特定非営利活動法人 宝塚高次脳機能障害者共生の会・地域活動支援センターWakaba「10周年の集い」にお招きいただき、出席しました。

地域活動支援センターWakabaの設立にあたっては、NPO法人宝塚高次脳機能障害者共生の会の皆様が熱い思いで力を合わせて、開所に至りました。当事者とご家族の方々が、家族会、交流会、講演会の開催にご尽力された、まさに皆様の総力の結晶です。

これからの福祉を考えるときのキーワードは、「地域」と「共生社会」だと思います。児童、高齢、障害、生活困窮など属性や世代に関係なく、支援する人、支援される人という一方通行の関係性ではなく、お互いに支え合えることができ、孤立することのない多様な社会参加が可能となる地域づくりが必要であり、その実現に向けて、市民の皆様と行政と一緒に取組んでまいります。

10月9日（日曜日） 第137回宝塚植木まつり



10月7日（金）から10日（月・祝）までの4日間、山本新池公園にて、宝塚市と宝塚市花き園芸協会の主催により、第137回宝塚植木まつりを開催しました。会場では、花苗・植木の販売や園芸相談、市花となったダリアに関するイベントのほか、県内で生産された庭園樹や盆栽、切り花など、観賞植物の品評会を同時に開催し、農林水産大臣賞をはじめとする各受賞作品を含めた約250点もの作品を会場内とあいあいパークにて展示しました。

9日（日）には、宝塚市花き園芸協会の阪上和彦会長にご案内いただきながら、各作品を観覧しましたが、長い歳月をかけて育てあげられた盆栽から、可愛い切り花まで展示され、千年以上の歴史を有する宝塚市の花き植木産業の技術と伝統を改めて感じることができました。

あいにくの天気が続きましたが、晴れ間には多くの方にお越しいただき、ご来場・ご出店の皆さま、その他関係者の皆さまにおかれましては感謝を申し上げますとともに、今後も、宝塚の花き植木・園芸の魅力を市内外に発信してまいります。

令和4年10月の活動日記

10月9日（日曜日） 末成ジュニア・ウインズ（末成小学校少年少女音楽隊）
「輝け♪みんなの音～復活スペシャル～」



末成小学校で開催された、末成ジュニア・ウインズ（末成小学校少年少女音楽隊）「輝け♪みんなの音～復活スペシャル～」に出席しました。

この2年ほどの間は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、思うように練習ができない日々が続いてきた中で、オンライン練習を取り入れながら活動を続けてこられたと伺いました。3年ぶりの演奏会での皆さんの演奏は、聴いている人の心を明るくするような元気を与える素晴らしいものでした。

これからも皆さんの音楽を通して、多くの人々を勇気づけてくださいね。

10月10日（月曜日・祝日） 第40回宝塚民謡民舞の祭典



ソリオホールで開催された、第40回宝塚民謡民舞の祭典に出席しご挨拶しました。

宝塚民謡民舞の会は、市内で活動している民謡民舞、津軽三味線、太鼓、尺八などの団体の皆さんが、日ごろのお稽古の成果を発表する場となっています。オープニングは新宝塚音頭の楽しい雰囲気始まり、津軽三味線の迫力ある合奏に圧倒されました。大人に混じって堂々と演奏する子どもさんの姿も見られました。市民の皆さんが伝統芸能に親しみ、日々の練習に励みながら、地域の文化として継承して下さることはとても大切なことです。ぜひ、後世に受け継がれていくよう願っています。

令和4年10月の活動日記

10月10日（月曜日・祝日） スポーツの日 イベント・体験会



スポーツセンターで開催された「スポーツの日イベント・体験会」を見学しました。屋内では、小学生バレーボール教室、ヨガやストレッチなどの体験、卓球、バドミントンの個人利用無料開放、スポーツ推進委員の皆様による新体力測定、屋外では野球、陸上、カヌー教室が行われました。参加者の皆様がスポーツの日を思い思いに楽しんでおられる姿を見て、元気をもらいました。このイベントがスポーツに取り組むきっかけとなれば嬉しく思います。スポーツセンターではスポーツの日以外でも、様々な教室が行われております。ご興味のある方は、ぜひお立ち寄り下さい。

10月16日（日曜日） 社会を明るくする運動街頭広報活動



本日は、宝塚市保護司会の皆様を中心に、阪急宝塚駅前ゆめ広場、阪急宝塚駅とJR宝塚駅を結ぶ連絡橋にて犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動である「社会を明るくする運動」の広報ティッシュをお配りしました。また、ティッシュ配りの前に「宝塚市少年少女音楽隊バトン隊」の皆様が演技を披露くださり、若さ溢れる明るく元気なパワーをいただきました。「社会を明るくする運動」の趣旨について、より多くの方に知っていただき、宝塚市が安全で暮らしやすい街となるよう、皆様にご協力をお願いしました。

令和4年10月の活動日記

10月22日（土曜日） 御所の前町会食会



御所の前町自治会主催の「御所の前町会食会」にご招待いただき出席しました。秋晴れの下、たくさんの地域の方々が集まり、和太鼓やオカリナの演奏、さらに琉球舞踊など、趣向を凝らしたプログラムを楽しんでおられました。感染症対策をしっかりと行いながら、住民の皆様の親睦と交流を深められるこのような機会を設けてくださった自治会長をはじめ役員様のご尽力に、敬意を表します。今後も、地域の皆様と協働のまちづくりを進め、豊かな地域づくりと市政のさらなる発展に努めてまいります。

10月22日（土曜日） 川面地区だんじり



川面地区のだんじり曳行にご招待いただき、出席しました。川面西・東・南の3台のだんじりが一斉に川面神社に宮入する様子は、非常に迫力があり、私も思わず驚きの声をあげてしまいました。川面神社には小さなお子様からご年配の方まで大勢の観客が集まり、近くで荘厳のだんじりを見ようと熱気に溢れていました。世代を超えた地域のつながりを嬉しく思うとともに、次の世代を担う若者の力を頼もしく感じました。華麗で勇壮なだんじりが、これからも地域の伝統文化として引き継がれていくことを願っています。

令和4年10月の活動日記

10月23日（日曜日） 西谷の森まつり



県立宝塚西谷の森公園で開催された「西谷の森まつり」に参加しました。宝塚西谷の森公園は、里山を生かしたハイキングコースや展望台が整備されています。当日は、木の実のクラフトやお菓子釣りなど体験や遊びのコーナー、西谷野菜やハーブの販売、昆虫の質問コーナーなど様々なプログラムが用意され、私は、布に蜜蝋(みつろう)を染み込ませるエコラップ作りに挑戦しました。地域の方から、最近コウノトリが飛来して話題になり、これからも貴重な里山の自然を守っていこうと活動されている様子をお聞きしました。多くの方に、自然の安らぎを感じに訪れていただければと思います。

10月23日（日曜日） 宝塚Uganまつり



宝塚南口駅に近い武庫川右岸の河川敷で開催された「宝塚Uganまつり」に参加しました。このイベントは、武庫川の魅力や河川敷から望む景色の素晴らしさを多くの方に知ってもらおうと活動されている、武庫川UGAN広場宝塚実行委員会が主催、宝塚第一小学校区まちづくり協議会が共催するもので、昨年に続き2回目の開催です。芝生広場に恐竜釣り、紙芝居、音楽や新喜劇風のパフォーマンス、西谷野菜やお弁当の販売、ダリアの撮影スポットなど、たくさんのブースが揃い、私も皆様と一緒に青空の下、爽やかな秋のひと時を楽しみました。

令和4年10月の活動日記

10月23日（日曜日） 宝塚茶道同好会南蛮茶会



東公民館で、宝塚茶道同好会の「南蛮茶会」に出席しました。コロナ禍の影響が長引き心が晴れない日々の中、これまでタイやネパール、オーストラリア、ドイツなど各国で国際交流をする中で集められた、様々な器などを茶道具に見立て、斬新な工夫で楽しんでもらおうと企画されたものです。普段のお茶席では見られないような、カラフルなお茶碗や水差しなどを拝見しながら、新鮮な感覚のお茶会を楽しみました。

10月25日（火曜日） 宝塚市立看護専門学校戴帽式



ソリオホールで開催された「宝塚市立看護専門学校第28期生戴帽式」に出席しました。戴帽式とは、看護学校入学後、一定期間看護の基礎を履修された看護学生が、看護の道へ進むことを改めて誓う、看護学生にとってとても重要な式です。4月の入学式でお会いした学生の皆さんが、神妙な面持ちでナースキャップを授けられる姿はとても頼もしいものであり、半年間での成長が伺えました。看護の道は、人の命を預かるという責任の重さと、それに必要な専門的知識・技術が問われます。人のことを大切に思うのと同じ分だけ、自分のことも大切にしながら看護の道を進んでいただきたいと思います。

令和4年10月の活動日記

10月27日（木曜日） 第36回ちやりてい寄席



ベガ・ホールで開催された「第36回ちやりてい寄席」に出席しました。
本市商工業、サービス業の未来を担われている若手経営者の皆様による宝塚商工会議青年部が中心となって開催されている当事業が、コロナ禍を経て3年ぶりに開催されました。
この事業では、多くの市民の方が、落語に親しむきっかけづくりとなるだけでなく、収益金により、市内小学生を宝塚歌劇の観劇に無料招待を行うなど、子ども達の成長支援としてもお力添えをいただいています。本日は、私も宝塚市大使である笑福亭呂鶴様をはじめとする素晴らしい落語家の皆様のお話を聞くことができ、心豊かなひとときを過ごすことができました。

10月29日（土曜日）

「ソーラーシェアリング」の農地でサツマイモを育てよう サツマイモ掘り



西谷地区のソーラーシェアリングの農地で栽培されたサツマイモの収穫イベントに参加しました。
ソーラーシェアリングの農地とは、太陽光パネルを農地の上に設置し、屋根の上で発電、その下の畑で農業を行うことで、農業と発電両立できる新たな農業の形です。農地を守りながら農業収入を得られるだけでなく、発電した電気も事業者に売ることによって売電収入も得られます。環境負荷が少ないクリーンなエネルギーを生み出すとともに、サツマイモを栽培・収穫できるこの取り組みは、非常に素晴らしいと思います。
秋晴れの下、たくさんの参加者の皆様とともにサツマイモを収穫し、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

令和4年10月の活動日記

10月29日（土曜日）「OPEN！みんなで話そう！やまさき市長とともに」



今回は「部活動の地域移行について」をテーマに設定し、教育総合センターにて開催しました。今まで学校内で行っていた部活動を地域に移行していくにあたって、多くの課題があると感じています。子どもたちを地域全体で育むため、地域の皆様から様々なご意見をお聞かせいただきました。子どもたちが望む形を考えてほしい、小学校や他部署とのさらなる連携が必要、働く世代に対する意識啓発など、地域移行に関するリスクや改善策について、沢山のお声を頂きました。お話しいただいた皆様、ありがとうございました。未来ある子どもたちに、多様なスポーツや文化を提供出来る環境を整えるため、市一丸となって取り組んでまいります。

10月31日（月曜日） 中辻悦子 起・承・転・転 内覧会



神戸市灘区のBBプラザ美術館で開催された「中辻悦子 起・承・転・転」の内覧会に出席しました。宝塚市大使の中辻悦子さんは、日本を代表する美術家で、絵本作家でもあります。本展では、初期のポスターデザインなど、昨年に宝塚市立文化芸術センターで開催された個展では見られなかった作品も展示されており、中辻さんの感性と表現力の幅に圧倒されました。また以前、エリック・サティの人形劇で人形制作と舞台美術に携わっておられた話を伺っていましたので、実際の作品を拝見でき、とても感動しました。内覧会の入口には列ができるほど多くの方が参加していました。宝塚市ゆかりの方がこうしてご活躍されることを嬉しく思うとともに、市民の皆様にも夢や希望を与えてくださっていることに心より感謝いたします。

令和4年10月の活動日記

10月31日（月曜日） サンテレビ ニュース×情報「キャッチプラス」生放送出



サンテレビ「キャッチプラス」のコーナー「ひょうごぐるっと41(よい)とこりレー！」に出演しました。

「41とこりレー」は県内41市町の市長・町長が出演し、地域の魅力を伝えるコーナーです。2回目の出演となる今回は、「宝塚これええもん！」として、ふるさと納税返礼品でもある、宝塚すみれクッキーとケーキ、ホテル若水の旅行券をご紹介します。

また、「住みやすいまちの実現に向けた取り組み」として、産前・産後サポート事業やきらきら子育てLINEなど、子育て世帯の方が安心して子どもを産み、育てられる環境づくりと、演劇的手法を活用したワークショップを市内小学校で実施し、より良い教育環境づくりに取り組んでいることをお伝えしました。

中継では、まちの皆様のお声を聴くことができ、また、大好きなたからづか牛乳が紹介されるなど、私にとっても嬉しく、また貴重な経験となりました。

視聴者の皆様にも宝塚のまちの魅力を感じていただければ幸いです。